

ライオンズ

世界

視力デーについて

ライオンズクラブのためのアクティビティ・ガイド

ライオンズ世界視力デーとは

ライオンズ世界視力デーは、予防可能な失明撲滅の重要性を認め、強化するために設けられた。これは、毎年10月の第2木曜日に催される。予防可能な失明に打ち勝ち、視力を保護する必要性についてそれぞれの地域社会の人々を教育するため、全世界のライオンズクラブはライオンズ世界視力デー開催日または10月中に、地元の活動やプログラムを後援することが奨励されている。

何故自分たちのクラブは参加すべきか

世界保健機関の推定によると、世界の盲人の数は25年後に2倍になりうる。失明の主因と闘い、視力保護を手助けするため、ライオンズクラブは行動を起こさねばならないのである。

正しい眼科保健の重要性について一般市民を教育する、という世界的な努力において、クラブは何千もの他のライオンズと力を合わせることができる。ライオンズ世界視力デーの活動は国際的レベルで広報されるが、この行事のメッセージを自分たちの地域社会の人々と分かち合うことも同様に大切である。クラブの活動を世界的規模の行事の一部として広報することにより、ライオンズ世界視力デーの活動に一層多くの人々の注目が集まるだけでなく、クラブが地元の地域社会に提供している奉仕プログラムに対する認識も高まるのである。

ライオンズ

世界

視力デー

クラブはどのようにして参与できるか

下記は、活動を選ぶ際に考慮に入れるとよい事項である。

- 自分たちの地域社会は、視力に関する具体的な援助を必要としているか。老人、子供、あるいは特定の民族グループなど、特別な援助を必要とするグループが地域社会にはあるか。
- 例えば糖尿病など、視力に関係のある病気が、地域社会に影響を及ぼしているか。これらの健康問題と取り組む地域社会グループがあるか。クラブは、そのグループとパートナーを組むことができるか。
- クラブが援助を提供できそうな視力障害者のための学校又はリハビリ施設があるか。
- 自分たちの地域社会では、眼科診療所または既存の診療所、眼科病院、あるいは眼科研究センターの拡張が必要か。
- 地域社会の人々は、無料の眼科検査、点字タイプライター、盲導犬、視力障害者向けに直してあるコンピューター、その他視力関係の奉仕を必要としているか。
- 自分たちの地域社会ではライオンズ眼鏡再生プログラムが行われているか。あるいは再生用に中古眼鏡を寄付できる場所があるか。
- クラブ内には、どのような利用可能な人材や資源があるか。会員の中に検眼医や眼科医、あるいは看護婦、医者その他の医療関係専門家がいるか。教師、病院経営者、経験豊かな講演者はどうか。物資を寄付できる会員がいるか。

ライオンズ世界視力デーに行うとよい活動案

- 地元の眼科医、検眼医、又は他の眼科関係専門家と協力して、公共の場所で視力検査、緑内障検査、白内障検査を行う。
- コミュニティ・センターや老人会館などで視力検査を行い、糖尿病性眼病や緑内障に関するライオンズ・アイヘルス・プログラムの資料を配布する。
- 地元の公衆衛生当局又は地域社会グループと協力し、糖尿病の検査や知識高揚プログラムを実施する。新しい糖尿病教育アクティビティ・ガイドが国際本部のプログラム企画課に用意されている。
- 地元の学区に連絡を取り、眼科保健教育でクラブが学校とどのように協力できるか話し合う。学校での視力検査を手配することや、予防可能な失明

について生徒及びその家族を教育する上で役立つ眼科保健推進パンフレットなどを作成することを申し出る。

- 必要であれば大きな活字の本や点字読本を地元の図書館に寄付する。
- 地域の団体に講演や資料配布を申し出る。
- 地元にある他の市民団体及び地域社会グループと協力して、眼科保健に関する認識を高める合同事業又は活動を行う。
- 地元の病院に連絡を取って、クラブがボランティアを提供できるか、あるいは眼科保健教育プログラムや診療所のために金銭的な援助を提供できるか尋ねる。
- 地元で眼科診療所、病院、あるいは診療所の拡張が必要とされている場合には、眼科医療のニーズをどのように満たすことができるかについて話し合うため、地域の地域社会グループ会議を開催する。
- 地域社会全域に及ぶ眼鏡再生運動を企画する。郵便局、図書館、公民館など、地域社会の要所に収集箱を設置する。
- ライオンズ/レンズクラフターズ眼鏡店の視力ナイト（子供たちが夕方お菓子をもらいに家から家を回って歩く10月末のハロウィーン祭りに行えるユニークな眼鏡収集活動 -- アメリカで行われている行事）に参加する。
- ライオンズ眼鏡再生センターの付近にあるクラブは、ライオンズ世界視力デーを、再生センターのボランティアを募集する活動開始のために利用するとよい。（訓練が関係するので、大抵の再生センターは1回きりのボランティアや希にしか奉仕できないボランティアよりも、長期間奉仕できるボランティアを好む）
- 既に設置されている眼鏡の回収場所について、住民に広く知らせる。

その他の案

- 予防可能な失明及び視力に関係のある病気をなくす必要性について、地元の新聞編集者に手紙を書く。
- 地域社会の健康推進行事、銀行、図書館、郵便局又は商店などで教育資料を配る。
- 地元の地域社会における眼科医療のニーズの研究をスポンサーし、報告書を公表する。
- 既存の眼科保健活動を、自分たちのクラブのライオンズ世界視力デー行事として適合させる。そうすることにより、自分たちのクラブも世界的行事の一部となるので、地元で認識を深めるチャンスが一層高まる。
- ライオンズ世界視力デーの活動に協力してくれるよう、市長、地元の有名人、タレントに依頼する。

クラブのライオンズ世界視力デー活動をどのように広報できるか

ライオンズ世界視力デーの活動を企画するにあたり、必要となる広報資料について考えることが重要である。広報活動を通して地域民の注目を集めることは、クラブが地元で行っている奉仕に対する認識を深めることになると同時に、地域社会の関与を助長し、更にはクラブの会員勧誘努力を促すだろう。クラブの活動を計画する際に、下記の広報活動の秘訣を参考にするとよい。

マスコミを通して広報

- 例えば視力検査、健康管理に関する地域社会教育事業、眼鏡再生プログラム開始など、一般人の注目を集めると共に報道価値のある行事を計画する。
- 忘れてならないのは、報道価値のある行事（地域社会で必要とされている事項と取り組み、そのようなニーズを満たす行事）であれば、マスコミは報道する、ということである。会員が何かしているところを示す劇的、そして見て分かる行事が報道される可能性が特に高い。
- 報道価値のある行事を企画したら、その行事について上手く伝える。報道関係者を招いて、クラブのライオンズ世界視力デー行事に出席または参加してもらう。
- このガイドに載っている見本を参考に、クラブの行事を発表する説得力のある報道記事を作成する。クラブPR委員長の手引（PR-710）には、更に有用なアドバイスや報道記事の見本などが載っている。
- 地元にある新聞社、テレビ局、ラジオ放送局のリストを作成し、郵便住所と電話番号も記載する。報道機関各社に電話をして、ライオンズの事業の取材を担当しそうな記者が誰であるか調べる。
- 行事の2、3週間前に地元の新聞社、ラジオ局、テレビ局に報道資料を送る。その後、行事の数日前に担当の記者に確認の電話をかけて、行事に出席するよう促す。
- ライオンズ世界視力デー行事終了後、クラブの行事に対する認識を高めるための手紙又は一般人へのお礼状を書いて、編集者に出す。

クラブ内での広報

- クラブの活動を計画するため、ライオンズ世界視力デー委員会を任命する。この委員会は、クラブのPR委員会と密接に仕事をし、クラブの計画を広報するべきである。

- ライオンズ世界視力デーに関する最新情報をクラブの例会で伝え、会員に関心を起こさせ関与を促す。
- クラブのライオンズ世界視力デー活動を手伝ってくれる会員や会員の家族を募る。
- クラブの会報やウェブサイトに載せる記事を作成する。

地元の地域社会内での広報

- 市長及び地域社会の指導者に連絡し、視力保護の必要性とクラブの計画行事について説明する。
- 医療関係グループを含む、地域社会の他のグループにも協力を促す。
- 視力関係の活動を10月以降に予定する。5月に行われる「ライオンズ視力のための再生月間」（主に北米で盛ん）に参加する計画を立て、更には、視力保護に関するクラブのメッセージを伝えるため、年間を通して他の重要な時期（例えば、新学期開始時など）に視力関係活動を行う。
- 予防可能な失明をなくし視力を保護することは、地元の地域社会と世界のために大切である、ということを広く伝える。
- 地域社会の発行紙やウェブサイトに載せる記事を作成する。
- 10月の第2木曜日をライオンズ世界視力デーとして宣言するよう、市長に依頼する。

クラブの活動を計画する際に役立つ資源

- www.lionsclubs.orgでライオンズクラブ国際協会のウェブサイトに行き、更に詳しい情報を得るとよい。ここには眼鏡再生事業やライオンズ眼鏡再生センターに関する情報も載っている。
- 先進国における二つの失明の主因（糖尿病性眼病及び緑内障）と闘うライオンズクラブの役に立つよう企画されているライオンズ・アイヘルズ・プログラムの資料は、ライオンズクラブ国際財団から入手できる。詳細については、国際協会のウェブサイト調べるか、lehp@lionsclubs.org に問い合わせる。
- 北アメリカで開催される視力ナイトに関する情報については、www.sightnight.org を訪問する。
- ナショナル眼科研究所のウェブサイトは、www.nei.nih.gov である。



LIONS CLUBS INTERNATIONAL
300 W 22ND ST OAK BROOK IL 60544-8842
www.lionsclubs.org

空白を埋めて報道用記事作成

(括弧内に必要事項を書き入れた後、改めてクラブの便箋に行間を十分空けてタイプする)

連絡先

()
()
()

() が失明撲滅の国際的運動に参加
全世界の人々を教育するために、ライオンズ世界視力デー実施

() — 世界保健機関の推定によると、世界の盲人の数は25年後に2倍になりうる。失明の主因と闘い、視力保護に手助けするため、() ライオンズクラブは、() に行われるライオンズ世界視力デーに参加する。これは、視力保護と予防可能な失明について教育し認識を深めることを目的にした世界的規模の行事である。

() は、() に、() で () を行って、この世界的な行事に参加する予定である。() に加えて、()。

「世界の失明者の数は、4千万人と見積もられています」と()()の()が述べている。更に「クラブ会員たちはライオンズ世界視力デーに、世界各地のライオンズと一緒に、正しい眼科保健の重要性について人々に知って頂こうとしています」と言い添えている。

アメリカだけでも約75万人の失明者がおり、毎年更に5万人が視力を失う、と全国盲人連盟が報じている。他の先進国同様に、緑内障と糖尿病性眼病がアメリカでの失明の主因である。

世界的には、世界保健機関によると失明者全員の75パーセントがアフリカとアジアにいる。アフリカでは、毎年約50万人が白内障で失明するが、そのうちの10人に一人しか手術を受けていない。インドでは、盲人の80パーセントが白内障の失明者で、毎年その数は380万人以上増えている。

()

ライオンズ世界視力デーは、ライオンズクラブ国際協会の後援で行われる世界的規模の視力保護運動で、視力関係の問題について認識を高めるための努力として、10月の第2木曜日に行われる。ライオンズクラブ国際協会は、189カ国及び領域の44,600以上のクラブで活躍する140万人の会員を誇る世界最大の奉仕クラブ組織である。失明征服を目指す活動の他に、この組織は、地域社会奉仕や全世界の青少年奉仕にも非常に献身的な努力を重ねている。

以上

ライオンズ世界視力デー報告

クラブ名:

連絡先氏名:

連絡先電子メール・アドレス:

貴クラブはライオンズ世界視力デーにどのように参加しましたか。

どれくらいの人が参加しましたか。

貴クラブは、この行事をどのように広報しましたか。

クラブの行事はどんなタイプのマスコミ取材を受けましたか。

この行事の様子を捕えた写真がありますか。*

貴クラブは他の組織と協力関係を結びましたか。

貴クラブは、来年もまた、ライオンズ世界視力デーに参加しますか。

Lions Clubs International
300 W. 22nd Street
Oak Brook, IL 60523-8842
USA
Attn: PR-Lions World Sight Day

*写真を提出することにより、クラブは、写真を無制限に使用する許可をライオンズクラブ国際協会に与えたことになる旨、予めご了承ください。国際協会は、写真をウェブサイトに掲載したり、記事に添えて掲載する場合があります。

ライオンズ
世界
視力デー